

平成 15 年度社内技術発表会

「住民参加による道路維持管理」(鹿児島国道管内国道等名称資料作成業務)

はじめに

本業務は平成 13 年度に鹿児島国道工事事務所より発注された業務である。

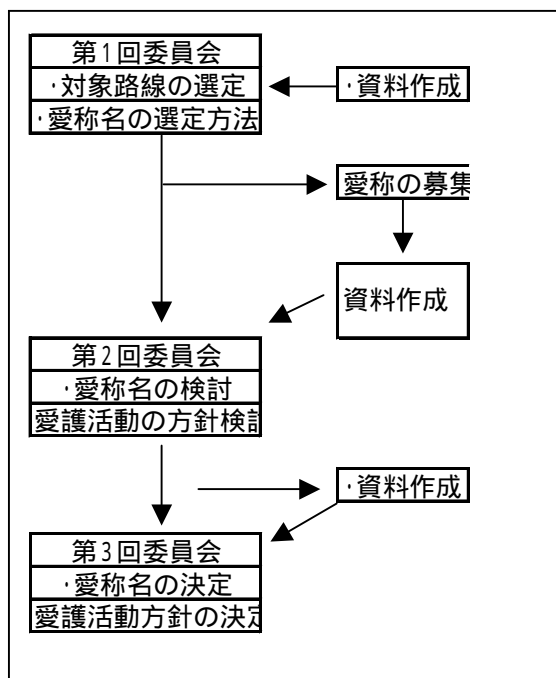
全国で初めての業務で試験的に鹿児島、栃木、神奈川の 3 県で行われました。

本業務は国道等に愛称を命名し地域の人々の関心、愛着を高め道を愛護するための地域活動を促すことを目的とするものであります。

私は道に愛称をつけて道に愛着を持ってもらおうということだと理解していましたが業務が進む毎に、国(発注者)の意図するところが違うところにあるのではと感じました。

今回は、実際の業務内容の紹介と併せて私の感じたことを述べたいと思います。

### 1. 業務フロー



### 2. 本業務が意図すること

本業務では国道等に愛称名をつけて、愛護活動の方針を決定するというものでありますが、現在、行政、土木維持係が行っている道路の美化清掃を地域や企業の皆さんに参加して頂き、地域の意見を取り入れながら、道づくりを進め、なおかつ道路維持管理コストの縮減も図る意図がありました。

### 3. 業務遂行における壁、問題点

#### 1) 委員会資料作成

本業務での資料はあらかじめ決定している議題を、限られた時間の中でわかり易く、また、的確な資料としなければならなかったこと。

#### 2) 提案

本業務の意図するところを理解していないことからの的確な提案ができなかった。

### 4. 壁、問題点に対する対処、思うこと。

資料作成に関しては今までの自分が考えていた資料、報告書作成とは大きく異なっており、それぞれの T.P.O に合わせた資料作成が必要であることを認識し、委員会の事務方としては、発注者側に立ち、かつ中立の立場を取らざる得ないと感じました。

### 5. まとめ

本業務において最終的に求めている住民参加による道路維持管理のコスト縮減対策において自分たちが利用する道路への関心愛着が薄いことが募集結果から判断できる。個人の意識を高めていくためには道路の、広報活動のさらなる推進と我々、地域住民の社会貢献に対する意識向上が重要ものとなってくる。

